

人材育成フォーラム

上司は「話を聞く」姿勢を「女性の活躍」で2つの講演

会員企業の人事担当者を集めた第11回人材育成フォーラムが7月18日、本部会議室で開かれた。今回のメインテーマは「女性活躍の集大成」。一昨年と昨年にシリーズで企画され好評だった「女性が活躍できる組織づくり」の総まとめ版として、女性社員のモチベーション、働き方／環境、戦力化などをサブテーマに、講演、ディスカッション等が行われた。参加者は27人(18社)で、半数以上の16人が女性だった。

佐藤聖子氏が「取材から」

最初に、日遊協広報調査委員会副委員長、佐藤聖子氏(ゲンダイエージェンシー(株))が「業界で働く女性の魅力や本音を解説」広報誌『女性社員訪問』の取材を通して見えたもの」と題して講演した。同氏は本誌2013年10月号からほぼ隔月で「女性社員訪問」のコーナーを連載しており、6月号で5回を数える。この間対面した5人の女性社員たちの取材エピソード、彼女たちの印象的な一言などを紹



講演する佐藤聖子氏(奥)

介した。

最後に、佐藤氏は「女性は常に、関わる組織を調和させるような配慮を無意識にしている。自分のやっていることや思考方法が、組織を円滑に動かすものであるかどうかの確認を求めている。確認を求める相手は横つなりの女性かもしれないが、一番大きいのは直属の上司だと思う。女性の上に立つ方は『あなたの話を聞くよ』という姿勢を常に示していただきたい。その姿勢が浸透すればするほど、

女性の確認が、確信に変わり、会社への高いロイヤリティにつながります」と述べた。

守屋擁氏は「本音トーク」

続いて、人材教育研修などを手掛けるデライト・コミュニケーションズ(株)の守屋擁氏が、働く女性として思っていること、感じていること、悩んでいることなどを「本音トーク」で講演した。この後5班に分かれて、女性の活躍について自社でできること、必要なこと、課題などを話し合った。

人材育成フォーラムが過去に取り上げた女性社員関連のテーマは次の通り。カッコ内は講演者。

▽2012年7月「女性が活躍できるポジションの提供方法」(株)マルハン人材開発部OJT推進課五十嵐清香氏)

▽12年11月「女性が活躍できる組織づくり・採用編」(株)リクルートキャリア、リクナビ編集長、岡崎仁美氏)

▽13年2月「女性が活躍できる組織づくり・職場環境編」(株)ジョヤンテ代表取締役、川崎貴子氏)

▽13年3月「女性が活躍できる組織づくり・女性リーダー育成編」(株)キャリアアップサム代表取締役、

増田啓子氏)

▽13年9月「新卒採用と女性採用」(司会進行・五十嵐清香氏)

東京都・関東支部

18人参加で救命講習会

東京都・関東支部が主催して、AED(自動体外式除細動器)を使った救命講習が7月8日、日遊協本部会議室で行われた。同支部としては6月26日に続く今年度2回目の救命講習となる。

参加したのは会員ホールの社員等18人。京橋消防署から派遣された指導員の説明を聞き、店内でお客様が、または家庭で家族が突然心停止した場合を想定して、6体のマネキンを相手に心肺蘇生、AEDによる除細動等の応急措置に真剣な表情で取り組んでいた。



指導員の説明に耳を傾ける講習参加者

セキュリティ対策委員会

3委員会再編で協議 効率化目的、慎重論も

第79回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）が7月24日、東京・市ヶ谷の全日遊連会議室で開かれた。

セキュリティ対策委員会、中古機流通協議会、遊技機リサイクル推進委員会など、業界横断的に構成されている3委員会の再編について審議した。再編の理由は、3委員会とも設立当時と状況が変化して審議量が減った上、内容の競合が目立つようになったこと、各団体から派遣されている委員たち



3委員会の再編などを審議したセキュリティ対策委員会

も重複していることなどが、一方で3委員会は設立目的が異なるとして慎重論も出された。

また、例えばリサイクル推進委員会には選定業者関連のルーティンワークがあること、構成団体の顔ぶれが微妙に違うこと（自工会はセキュリティ委のみ）など、再編にあたっての課題が残されている。

不正対策室会議

一般ファンは566件

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は7月24日、東京市ヶ谷の遊技会館で委員ら14人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。

2014年6月のPSIOオーブネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は604件。業界から38件、一般ファンから566件の入力があり、今年に入ってからコンスタントに600件を超えている。一般ファンの入力は、20

13年6月と比べると38件（2013年6月528件）増えている。ゴトに関しては、相変わらずパチンコの玉掛かりゴトが目立っている。不正情報に関しては、大当たり時の店員の不審な振る舞い、各台データ表示が正確などの情報が多く見られる。

東京都・関東支部セ部会

「ゴト師対応」など講演 Eー・ピー総研中野耕平氏

東京都・関東支部の第3回セキュリティ部会が7月28日、本部会議室で開かれ、支部会員32人が出席した。ホールセキュリティ・コンサルティングの㈱Eー・ピー総研代表取締役、中野耕平氏とスタッフが「事案発生時の危機管理と防犯対策について」のタイトル



東京都・関東支部セキュリティ部会で講演する中野耕平氏

で講演し、「ゴト師との対応のNG集」などをわかりやすく解説した。

店長・管理職能力開発講習

10月は東京と大阪で

日遊協は、10月に東京、大阪で行う店長・管理職能力開発講習の受講希望者を募集している。

店長・管理職能力開発講習は、ホールの店長や店長候補者、メーカー、設備機器等の管理職の方々に対象に行われている。おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法等で、健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけ、リーダーとして育つ内容となっている。

- 10月8日（水）
東京Ⅱ日遊協本部会議室
- 10月17日（金）
大阪Ⅱ難波市民学習センター

午前10時開始、午後5時半終了。受講料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

全日本社会貢献団体機構

兵庫県遊協に貢献大賞

RSNに對し
1千万円助成



社会貢献大賞を受けた兵庫県遊協と堀田会長（中央）

全日本社会貢献団体機構（堀田力会長）の第9回社会貢献大賞表彰式と平成26年度助成金贈呈式が7月24日、東京・新橋の第一ホテル東京で行われた。

社会貢献大賞には、兵庫県遊協の「『兵遊協／障害者ぬくもり応援団』を中心とした障害福祉活動の推進」事業が受賞した。事業内容は、兵庫県の障害者支援事業に積極的に参画し、端玉賞品への授産商品の導入、イベントでの授産商品の販売協力、障害者福祉団体への財政支援や福祉車両の寄贈等多様な活動を継続して行った。

助成金贈呈式では、東日本大震

災復興関連事業、コミュニティ強化支援事業、子供の健全育成支援事業、命を大切にしている研究・事業、学術・文化の振興事業、特命助成の計26件について、従事するNPO法人などに総額6425万円の助成を行う。このうち特命助成は

「ばちんこ依存問題に関する相談及び回復支援」事業として、認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワークに對する1000万円の助成となった。

同機構は全日遊連が母体となり、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加して設立された任意団体組合会員の社会貢献に對する顕彰を行い、また一般の学術・文化などの社会貢献活動に助成している。

健全化推進機構理事会

4～6月に474店舗を検査

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は7月14日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで理事会を開き、第1四半期（4～6月）の検査部活動実績が報告された。

これによると、検査部は3か月に31都府県で遊技機401店舗、計数機73店舗、計474店舗で検査を実施した。内訳は、遊技機ではパチンコ2870台、回胴式3095台、計数機では玉51台、メダル41台だった。目立った事案として、一部の回胴式遊技機では中継基板のケースが開封されないよ

推進機構の経費負担

非組合ホールの調査

ホール会員に協力要請

日遊協は7月4日、ホール会員に向けて「非組合ホールからの推進機構経費拠出に関わらぬ協力」の

お願い」と題する文書を発した。日遊協会員企業で組合に加盟していないホール（非組合ホール）の有無、有る場合は当該ホールに關しての拠出先（日遊協または他団体）、遊技機設置台数、拠出金額について7月25日までに回答を求めた。

推進機構の2014年度経費負担は、これまでと同様にホール5団体（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）と全国遊技機組合連合会（遊技機メーカー・販社・周辺機器の団体で構成）とで折半することになっている。

このうちホール5団体の拠出方法については、組合に加盟しているホールは当該都府県方面遊協を通じて拠出し、加盟していないホールは当該企業が会員となる団体を通じて拠出する。組合及び団体にまったく属さないホールについては、日遊協が拠出金の受付窓口になる。

ホールの拠出額は2013年12月末日現在の遊技機設置台数をもとに、1台あたり50円とする。ただし、東日本大震災の被災県である福島県内のホールは1台あたり25円とする。

車内放置撲滅キャンペーン

中部支部が2回実施 車内点検やチラシ配り

中部支部は7月18日、愛知県安城市のパワーシティーファンダーズ

高棚店駐車場で「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」を行った。

中部支部、安城・知立遊技業組合、安城警察署、高棚店スタッフなど

23人が参加し、「やめて！子どもの車内放置」とのタスキをかけ、駐

車車両を1台1台点検したうえ、「子どもを連れてきちゃダメ」と

書かれたチラシを配布した。

店舗の入り口で、来店客から「子どもの事故があつては大変で

す。暑いのにご苦労様です」とねぎらいの言葉がかけられるシーン

もあった。この「車内放置撲滅キャンペーン」は8月8日、名古屋



参加者は駐車場を綿密にパトロール

市のタイホウ中川橋店でも実施されることになっている。

中部支部役員会

「皇居奉仕」参加を確認

中部支部役員会が7月8日、名古屋

市・アイリス愛知で開かれ山口悟支部長以下8人が出席した。

7月18日と8月8日の2回行われる「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」「街頭防犯カメラの設置

などについて協議し、秋の「皇居の勤勞奉仕活動」には山口支部長

を団長として参加することを確認した。

7月1日から愛遊協の専務理事

についた兼松道明氏が出席し「着任したばかりで、業界のことはよく

分かりませんが、いろいろ抱えている問題もあるように聞いていま

す。中部支部と連携を密にして業界発展に尽力したい」と挨拶した。

北海道チャリティコンへ

114人参加で盛大に

北海道遊技産業合同チャリティ



コンペ表彰式パーティーであいさつする美山実行委員長

ゴルフコンペ（主催・北海道遊技事業協同組合連合会＝北遊連）が

7月1日、札幌北広島ゴルフ倶楽部で開かれ114人が参加した。

北海道各地から多くの賛同者を集めた大会は、晴天無風のなかダブル

ペリア方式で実施され、北日本・遊機（株）の中瀬祐詞常務が優勝した。

「チャリティーとして総額75万8千円が集まった」と美山正広実行

委員長（日遊協北海道支部副支部長）から報告され、中村和利大会

会長（北遊連理事長）が北海道新聞社会福祉振興基金に寄贈した。コ

ンの共催は日遊協北海道支部、北遊商、回胴遊商北海道支部。

支部、本部から46人

北海道支部拡大交流会

日遊協北海道支部は6月30日、ホテルレオパレス札幌で第4回「拡大交流会」を開き、支部登録会員14社16人、本部登録会員24社30人ら46人が参加した。

松谷明良支部長は「行政当局から講話もいただけるこの交流会を十分生かして北海道支部の充実をはかりたい」と挨拶した。北海道警察本部生活安全部、一森則雄保安課長が「ばちんこ営業の健全化推進について」と題して講話し、射幸性、のめり込み、不正改造などに関して厳しい指摘を行った。

昼食会が開かれ、参加者はなごやかに歓談し、東京・秋葉原で開かれた「フェスタ2014」のDVDも上映された。

多数の参加を得た北海道支部の拡大交流会



ヒノックスに感謝楯

浄財約300万円を寄付

千葉県に17店舗、神奈川県に1店舗のパチンコ店を展開している株式会社ヒノックス（日野文平社長、本社・市原市）がこのほど、社会福祉法人中央共同基金会から感謝楯を贈られた。同社は昨年12月から毎月お客様から寄せられた浄財（端玉や現金）を赤い羽根共同基金へ寄付しており、その功績に対する感謝楯。寄付総額は6月末現在で316万3847円に達している。5月8日、ヒノックス本社で松本秀夫千葉県共同基金常務理事から日野社長に楯が手渡された。

ヒノックスへ感謝楯の贈呈式。
左から日野智隆同社常務、日野社長、松本常務理事



（株）西の丸一善の会 国土交通大臣から 海岸清掃で感謝状

（株）西の丸一善の会が、海の日の7月21日、国土交通大臣から「多年にわたる海洋環境保全に対する奉仕活動」で表彰された。「一善の会」は、九州支部副支部長の西谷淳氏が代表を務める（株）西の丸のボランティア組

織で、宮崎県で日頃から海岸清掃活動を行い、海水浴時期などは社員を動員した大規模な清掃を行ってきた。

新規入会

7月17日の今年度第2回定例理事会で、正会員1社、賛助会員1社の新規入会が承認された。（敬称略）

●新規入会（正会員）

▼株式会社セブンピース

代表取締役・林誠一
神奈川県藤沢市辻堂1・5・10

販社。2007年設立。資本金2000万円。年商15億円。役員2名。社員17名。回胴遊商、東遊商に加盟。（推薦人・東和産業（株）岸野誠人）

●新規入会（賛助会員）

▼株式会社トラスネットワークス
代表取締役社長・平野宏
東京都千代田区神田神保町1・105

金融決済サービスの企画・運営。2007年設立。資本金1億円。役員5名。社員14名。（推薦人・専務理事篠原弘志）

●会員・業界消息

●代表者変更

▼東和産業株式会社
代表取締役社長・岸野誠人

4月1日
▼株式会社ジャパン・アイディー
代表取締役社長・小山茂

6月23日
▼石川県遊技業協同組合
理事長・浅野哲洋

7月
▼公益財団法人さわやか福祉財団
理事長・清水肇子

●住所等変更

▼株式会社中商

東京都台東区東上野1・12・8

6月25日

▼株式会社平和

東京都台東区東上野1・16・1

TEL03・3837・3131

FAX03・5812・1312

7月7日

▼株式会社オリンピア

東京都台東区東上野1・16・1

TEL03・3835・2181

7月7日

FAX03・3835・9885

古城戸 茂教氏（株式会社メーシー代表取締役）7月21日、病氣療養中のところ死去。56歳。ご遺族の意向で家族葬が営まれた。

DATA SPOT

1か月で34店舗の減少、年間249店減

全日遊連は7月23日、店舗数、遊技機台数の2014年6月分を発表した。店舗数は、5月と比較してマイナス34店と状況は悪い。1万791の店舗数は、年間ペースだと昨年6月（1万1040店）と比べて、この1年間249店舗マイナスで、低下傾向は200店舗台が続いている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万3889台（昨年6月277万3587台）と下がり、一方パチスロ機はプラス3万3320台（昨年6月145万9781台）と相変わらず前年を上回っている。パチンコ・パチスロの総台数では昨年11月から前年比マイナスに転じたまま、6月はマイナス2万569台となり、前年比減は8か月目に入った。＜注＞店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成26年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,948	18	18	105 (12)	2,761,076	1,482,689	156	4,243,921
2月	10,906	5	37	113 (16)	2,752,003	1,481,748	156	4,233,907
3月	10,858	13	55	113 (22)	2,740,351	1,483,983	156	4,224,490
4月	10,847	24	30	115 (13)	2,734,689	1,488,842	156	4,223,687
5月	10,825	18	33	125 (19)	2,730,577	1,492,880	156	4,223,613
6月	10,791	3	35	124 (15)	2,719,698	1,493,101	156	4,212,955

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	259	0
東北	567	+2
東京	596	-1
関東	1703	+2
中部	543	+5
近畿	937	-1
中国	316	-1
四国	156	0
九州	639	+3
全国計	5719	+9

(2014年6月30日現在)